



大東地区と霞ヶ関地区を結ぶ八瀬大橋の霞ヶ関側の歩道に、タイル画のレリーフが二つあります。

描かれているのは、川遊びを楽しむ子どもたちと、川越水上公園で遊ぶ皆さんの二種類。川遊びの絵には、麦わら帽子をかぶった子どもたちが魚を追いかける様子が描かれ、ちよつと昔の雰囲気。もう一つの絵には川越水上公園で楽しそうに遊ぶ若い女性の姿を中心に描かれています。二つの絵を見比べると、今と昔の水遊びを題材にしているようです。

ことしの夏は暑くなりそう、という予報。ここを歩くたびに、絵に描かれている光景が、うらやましくなりそうです。



向かい合わせに作品はあります



作品位置  
八瀬大橋

## どんぐり

編集後記

4年に1度のサッカーの祭典、ワールドカップ。決勝戦は、日本時間で7月10日の早朝です。この号が市民の皆さんに届くころには、結果が出ているはず。どこの国が栄冠を勝ち取っているのでしょうか▶小学生からサッカーを10年以上してきましたが、最近はボールに触れる機会がなくなりました。今では体力も落ち、10分間も走れるかどうか。わかっている、この時期はボールが恋しくなります▶いよいよ夏本番。夏の風物詩の中でも、ホタルは日本らしさを感じさせるものの1つです。最近では、市内でもホタルの飼育が活発になってきた様子。ことしもさまざまな地区で、ホタルを見る催しが行われました。近い将来、たくさんのホタルが夏の夜空を彩る光景を、川越でも目にすることができるようになるといいですね。



### 環境トピックス

## 壁面緑化で涼しく過ごす④

5月に始まった川越小学校の壁面緑化モデル事業。苗を植え付けて1か月がたちました。つるの伸びが早いのは、ヒョウタンとゴーヤ。すでに、2メートル以上の高さに成長している物もあります。また、ヒョウタンとヘチマは毎日花を咲かせ、実を付ける準備をしています。子どもたちは、植物の成長していく姿を、教室から眺めて、楽しんでいるようです。

この事業は、地球温暖化やヒートアイランド現象への対応策として実施しています。10月から新たに、市民の皆さんや事業者が建築物への屋上緑化や壁面緑化を行う際に補助金を支給する制度を開始します。詳しくは、8月10日発行の広報川越でお知らせします。

問い合わせ…環境政策課みどりの係・TEL内線2615

現在では、上の階に届こうという高さになりました。子どもたちも興味深そうです

膨らみ始めたヘチマの実

